

金沢大学 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー

Venture
Business
Laboratory



金沢大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリーの出発にあたって

ラボラトリー長 廣瀬 幸雄



2004年4月1日、金沢大学法人が新たな飛躍に向かって踏み出した日であると同時に金沢大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー (VBL) が稼動し始めた日でもあります。

本ラボラトリーは、大学が持つ研究成果の事業化、商品化を目指したり、起業を志す学生達を支援するなど、大学の法人化に伴い社会との連携やニーズ対応の面で大きな期待を寄せられる部署と認識しています。

初代ラボラトリー長としては、大学が蓄積してきた成果が産業支援の基盤技術として根付くとともに、新産業創出に結びつく事業として芽が出るよう、共同研究センター長としての4年間で培った産学官連携のパートナーシップと学内外のネットワークを活用して、着実に実績を上げてゆきたいと考えています。

ラボラトリーの目的は、自然と環境に調和した人に優しい生活環境の創出を目指した「生体機能システム」と「環境保全技術」の2本柱で構成していますが、さらに多様な技術の融合や実社会での応用開発など幅広い展開を見込んでいます。

研究活動のほか、大学院生への研究指導やセミナー等を通じたベンチャービジネスマインドの涵養、共同研究センターや金沢大学TLO (KUTLO) と連携してベンチャービジネスの創造支援、国内外との様々な連携など幅広い活動を繰りひろげてゆきます。

2年後には、金沢から新たなビル・ゲイツやソニーが飛び出すと断言したいところですが…合い言葉は、『金沢から新たな可能性の扉を開こう』です。

是非、一緒に夢を実現しましょう！

概 要

本年4月の国立大学の独立法人化にともない、研究成果を社会に還元できるシステムの構築が国立大学にはますます求められてきています。従来より、金沢大学は共同研究センター・知的財産本部などを拠点とした産学連携を通して、知的財産の社会への還元をめざした活動を積極的に行ってきました。

金沢大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー (VBL) は、従来のこれらの産学連携の取り組みの延長線上に、自然と環境に調和した人に優しい生活環境を目指した知的財産を創出し、これを金沢大学共同研究センターなどとの連携のもと、起業化へと結びつけることを目的として、平成16年2月に建物が完成後、4月から定常的な稼動を開始いたしました。

金沢大学VBLでは、

- ①生体機能システム
- ②環境保全技術

の二つの研究テーマのもと、自然科学研究科を中心とした全学より公募された研究計画より選定されたプロジェクトを支援します。さらに、各プロジェクトを、大学院生・博士研究員 (ポスドク) が主体的に推進することで、大学院生・ポスドクによるベンチャービジネス創出を手助けします。

活動内容

プロジェクト研究の推進

全学より公募計画の中から選定されたプロジェクトに対して、研究室・共同利用設備等を提供し、プロジェクトの支援を行います。

学生のベンチャービジネス起業の支援

共同研究センターとの共催によるベンチャービジネスプランコンテスト、大学院自然科学研究科と連携したベンチャービジネス講座など、ベンチャービジネスに関する啓蒙活動を行います。

博士研究員(ポストドク)の採用と支援

各プロジェクトの担い手として、博士号を取得した若手研究者をポストドクター(ポストドク)研究者として採用するとともに、ポストドクによるベンチャービジネス起業も支援します。

設備

「生体機能システム」開発研究と「環境保全技術」開発研究を推進するために、主な設備として以下の機器を配備しています。

3階

高速並列計算機システム
地域医療情報システム

4階

知能ロボットシステム
カラーハイスピードビデオシステム
ポリグラフシステム
高速分光エリプソメーター

5階

レーザーフラッシュ法熱定数測定装置
生体分子・微生物解析装置
DNAチップ解析装置

これ以外に、VBLの備品として、起震機システムが³⁾、工学部内に設置されています。



高速分光エリプソメーター



知能ロボット



ルミノ・イメージアナライザー
(生体分子・微生物解析装置)

金沢大学 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー

Venture Business Laboratory

■ 総合案内

金沢大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー

〒920-1192 金沢市角間町

TEL 076 (234) 6874

FAX 076 (234) 6875

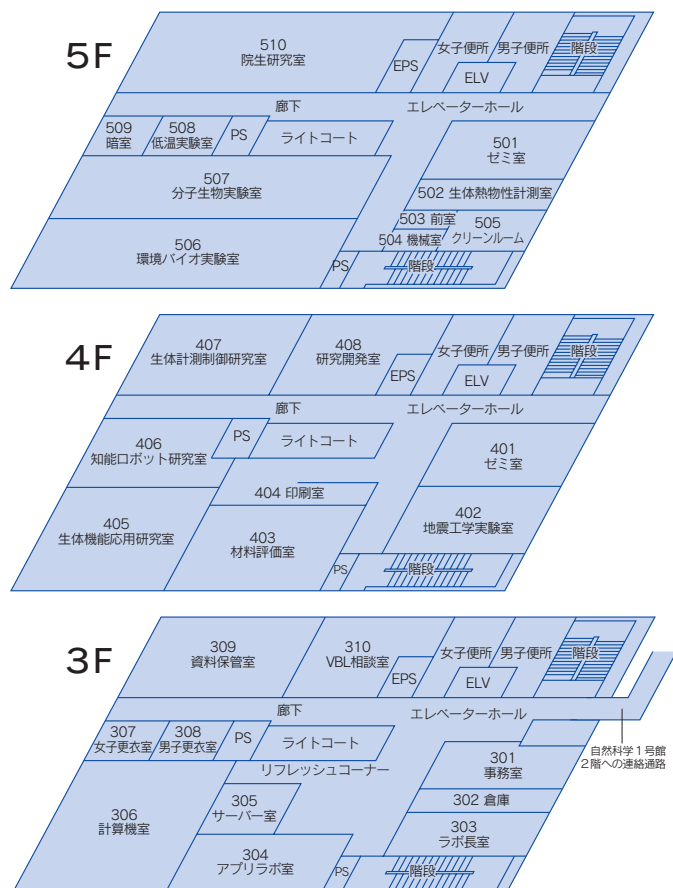
<http://www.nst.kanazawa-u.ac.jp/vbl/>

メールアドレス hirose@kenroku.kanazawa-u.ac.jp

■ 金沢駅からキャンパスまでのアクセス

【北陸鉄道バス利用の場合】

- 角間キャンパス(バス停：金沢大学自然研前)まで/
金沢駅東口3番乗り場発/93・94・97金沢大学行き(兼六園下経由)34分



※ 1・2Fは先端材料科学ラボラトリー

